



CDR-D651

CD レコーダー



このたびは、ヤマハコンパクトディスクレコーダー CDR-D651をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

CDR-D651の優れた性能を十分に発揮させるとともに、未永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みくださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

本機は電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。

取扱説明書




ご使用前に必ずお読みください。

安全上のご注意(安全に正しくお使いいただくために).....

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

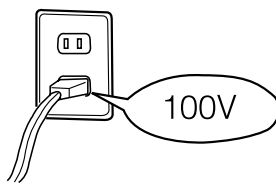
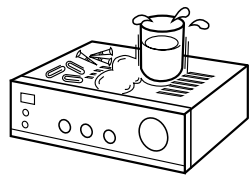
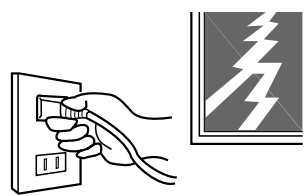
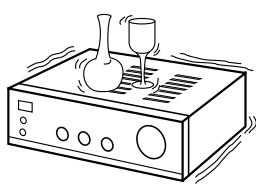
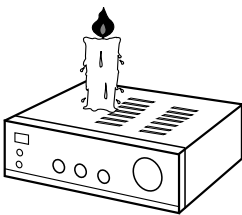
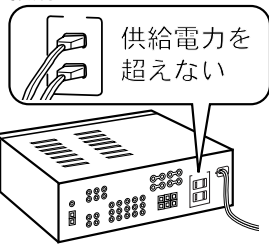
絵表示の例

 <p>記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。</p>	 <p>記号は禁止の行為であることを告げるものです。</p> <p>分解禁止</p>	 <p>記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。</p>
---	---	--



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

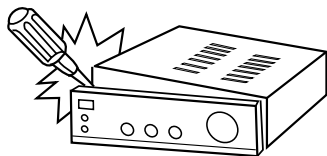
<p>⊘ 電源電圧交流100V以外の電圧で使用しない</p>  <p>火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。</p>	<p>⊘ 水や金属類を入れたり、ぬらさない</p>  <p>火災・感電の原因となります。本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。また、本機を水滴などが落ちる場所に設置しないでください。</p>	<p>⊘ 雷が鳴っているときは、アンテナ線や電源プラグに触れない</p>  <p>感電の原因となります。</p>
<p>⊘ 陶器やガラス類などを置かない</p>  <p>振動により落ちたり、倒れたり、割れたりするとケガをする恐れがあります。</p>	<p>⊘ 火のついたローソクなどを置かない</p>  <p>火災・感電の原因となったり、火傷をする恐れがあります。</p>	<p>⊘ 供給電力を超える消費電力の機器を、電源供給コンセントに接続しない</p>  <p>火災の原因となります。接続機器の消費電力の合計が本機背面に表示されている供給電力を超えないようにしてください。また、供給電力内であっても電源を入れたときに大電流の流れる機器(電熱器具、ヘアドライヤー、電子レンジなど)は接続しないでください。</p>



警告

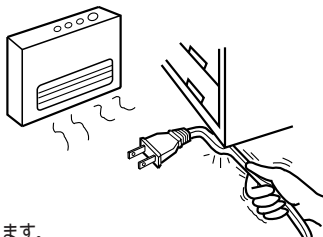
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⊘ 分解・改造を絶対しない
分解禁止 (キャビネットをはずすことも含む)



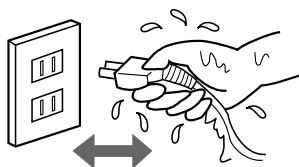
火災・感電の原因となります。
 内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

⊘ 電源コード・プラグを破損するようなことをしない
(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる・ねじる、引っ張る、束ねる、重いものをのせるなどしない)



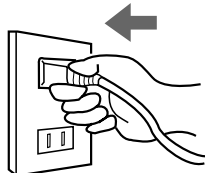
火災・感電の原因となります。
 コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

⊘ 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない



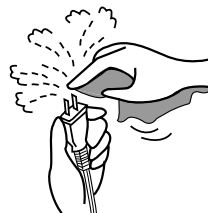
感電の原因となります。

⚠ 電源プラグは根元まで確実に差し込む



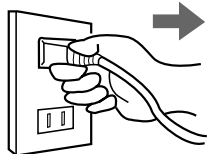
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。
 抜くときは必ずプラグを持ち、コードを引っ張らないでください。
 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

⚠ 電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く



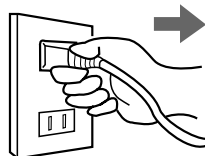
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。
 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠ 機器の内部に水や異物が入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く



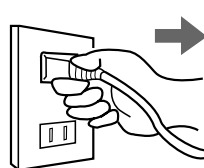
販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 煙が出たり変なにおいや音がしたら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

⚠ 落としたりして本機を損傷した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

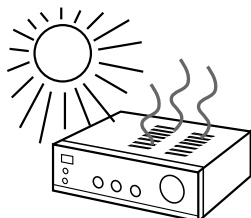
安全上のご注意



注意

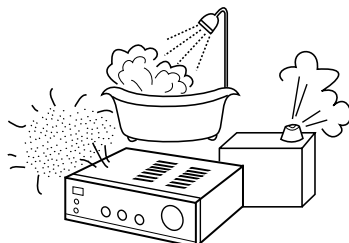
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

- ⊘ 直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に置かない



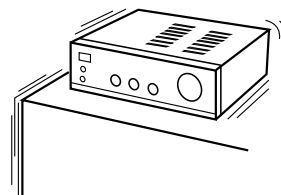
キャビネットや部品に悪い影響を与えたり、内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。

- ⊘ 湿気やほこりの多い場所に置かない



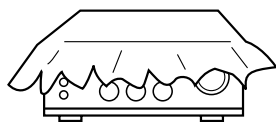
加湿器を使用する場合は、本機との間に十分なスペースをとり、加湿しすぎないようにしてください。本機内部に結露が生じると故障するだけでなく、火災・感電の原因となることがあります。

- ⊘ 振動のある場所、ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない



落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。

- ⊘ 通風孔をふさがない



通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがありますので、次の点に注意してください。

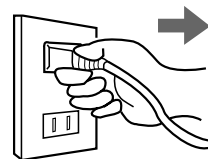
テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。
本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。

- ⚠ 放熱をよくするために他の機器との間は少し離して置く



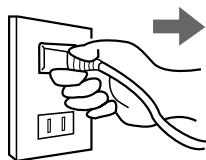
火災・故障の原因となることがあります。ラックなどに入れるときは、本機の天面から30cm以上、左右20cm、背面から10cm以上のすきまを開けてください。

- ⚡ 各機器を接続する場合は電源プラグを抜き、説明に従って接続する



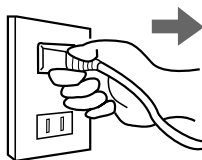
各々の機器の取扱説明書をよく読み、接続には指定のコードを使用してください。

- ⚡ 移動するときは電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜き、外部の接続コードを外す



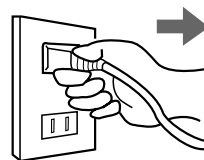
コードが傷つくと火災・感電の原因となることがあります。

- ⚡ お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜く



感電の原因となることがあります。

- ⚡ 長期間使わないときは、必ず電源プラグを抜く



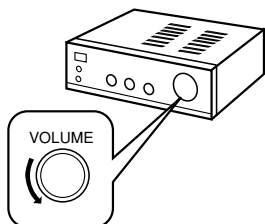
火災の原因となることがあります。



注意

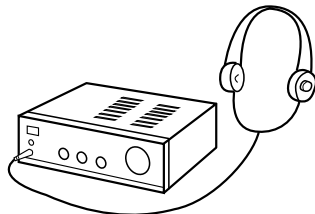
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

- ⚠ 電源を切る前には音量を最小にする



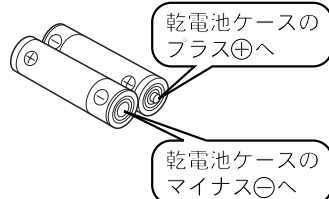
電源を入れたとき、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

- ⊘ ヘッドホンを使うときは、音量を上げすぎない



大きな音で聞くと、聴力障害などの原因となることがあります。

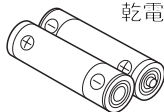
- ⚠ 付属のリモコンに電池を挿入する場合、極性表示 プラス⊕ とマイナス⊖ 通りに入れる



間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

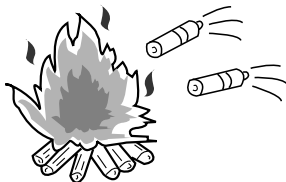
- ⊘ 指定以外の乾電池は使用しない

取扱説明書に記載されている乾電池を使用する



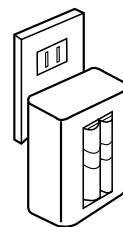
また、種類の違う乾電池、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- ⊘ 乾電池はショート、分解、加熱、火に入れるなどしない



発熱、液もれ、破裂などを起こし、けが、やけどの原因となることがあります。

- ⊘ 乾電池は充電しない



液もれ、破損などを起こし、けが、やけどの原因となることがあります。

- ⚠ 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご相談ください。

本機の内部にほこりがたまったまま長い間掃除しないと、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。

安全上のご注意

ディスクについて

本機で録音できるディスクについて
本機の性能を十分生かすために、信頼できるCD-RまたはCD-RWをご使用ください。
本機で録音する場合、下記のマークが付いたディスクを必ずご使用ください。



FOR CONSUMER
FOR CONSUMER USE
FOR MUSIC USE ONLY

録音用ディスクについて

- CD-Rディスクは一度のみ録音が可能で、録音したデータの消去はできません。
 - CD-RWディスクは録音、データの消去、新たな録音が何度でも可能です。
- 本機で録音できないディスクについて
- 上記のマーク / 表示が付いていないディスク
 - パソコン用のデータを記録するためのディスク
 - 「FOR PROFESSIONAL USE ONLY」と表示のあるプロフェッショナル用のディスク

CD-Rのファイナライズについて

CD-Rは録音終了後、一般のCDプレーヤーで再生できるようにするために、ファイナライズが必要です。

ファイナライズすると、TOC (Table of Contents) がディスクに書き込まれます。

ファイナライズが終了すると、一般のCDプレーヤーでCD-Rを再生できるようになります。

また、一度ファイナライズが終了したCD-Rに、さらに追加して録音することはできませんので、ご注意ください。

ファイナライズ済みのCD-Rでも、CDプレーヤーによっては再生できない場合があります。

ファイナライズについて、詳しくは25ページをご覧ください。

データ消失などの責任について

本機の使用に伴い、CD-RまたはCD-RWに書き込んだデータの消失、破損などお客様に生じた逸失利益、特別な事情から生じた損害(損害発生につき弊社が予見、または予見し得た場合を含みます)及び第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害については、一切責任を負いかねますので御了承ください。

本機で再生できるディスクについて
前記のマーク / 表示のついたCD-R、CD-RW、下記のマークが付いた市販のCDをご使用ください。



CD-RWの再生について

CD-RWは、ファイナライズしても一般のCDプレーヤーでは再生できません。
本機のような、CD-RW対応プレーヤーでのみ再生が可能です。

また、CD-RWはファイナライズ済みでも消去可能で、追加録音も可能です。

DVDプレーヤーでの再生について

ファイナライズ済みのCD-RまたはCD-RWをDVDプレーヤーで再生する場合、お手持ちのDVDプレーヤーがCD-RまたはCD-RWの再生に対応しているか、ご確認ください。

対応していない場合は、DVDプレーヤーでの再生は避けてください。

ご注意

本機のご使用に際しては、著作権法に抵触しないよう、ご注意ください。

著作権について

放送やレコード、ディスク、テープ、その他の録音物の音楽作品は、著作権法により保護されています。

従って、それらから録音したディスクやテープを

- 売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合
- 営利(店のBGMなど)のために使用する場合

は、権利者の許諾が必要です。

詳しい内容や申請、その他の手続きについては、下記までお尋ねください。

お問い合わせ先:

(社)日本音楽著作権協会(JASRAC)

TEL(03)5481-2121

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

お問い合わせ先:

(社)私的録音補償金協会

TEL(03)5353-0336

特長

- 二倍速CDダイレクトコピー
- CD-R, CD-RWの録音・再生
- 二倍速ファイナライズ
- 光デジタル入出力端子
- 2枚のCDの各種再生方式
リレー再生・プログラム再生
リピート再生・ランダム再生
- CDテキスト対応

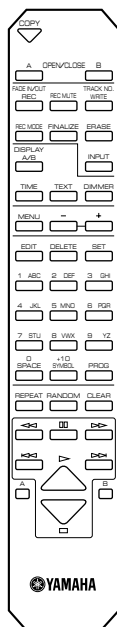
目次

はじめに	安全上のご注意	2	再生	1又は2枚のCDを再生する	26	
	ディスクについて	6		再生の基本操作	26	
	準備	8		2枚のCDのリレー再生	26	
	付属品の確認	8		聞きたい部分を探す	27	
	リモコンについて	9		聞きたい曲を探す	27	
	接続する	10		ご参考	いろいろな再生のしかた ...	28
	ディスクの取り扱い	11			聞きたい曲を好きな順に聞く	28
	各部の名称と機能	12			順不同に聞く	29
	フロントパネル	12			聞きたい曲を繰り返し聞く	30
	リモコン	13			1枚のCDを繰り返し聞く	30
ディスプレイ	14	2枚のCDを繰り返し聞く	30			
各種メニューの設定	15	順不同に繰り返し聞く	30			
ディスクに録音する	16	ヘッドホンを使って聞く	31			
録音の基本操作	16	オートプレイ	31			
入力ソースを選ぶ	18	その他	32			
録音モードを選ぶ	18		システム上の制約について	32		
録音レベルを調節する	19		デジタル録音のルール	32		
録音中に曲番を付ける	19		ディスプレイ文字表示一覧	33		
録音	いろいろな録音のしかた ...		20	故障かな?と思ったら	34	
	CDのダイレクトコピー		20	仕様	35	
	シンクロ録音		20	ヤマハホットラインサービス		
	CD/RWの消去		22	ネットワーク	36	
	レックミュート		23			
	フェードイン・アウト機能		23			
ファイナライズ	25					
ファイナライズする	25					

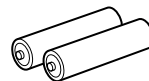
付属品の確認

付属品がすべてそろっているか、確認してください。

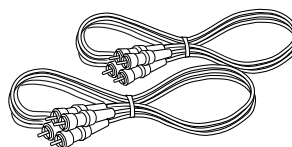
- リモコン



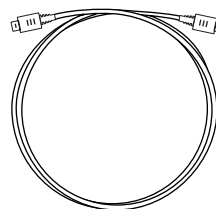
- 単3乾電池(2本)



- オーディオコード(2本)



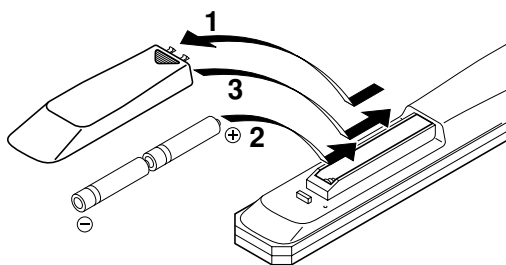
- 光ファイバーケーブル



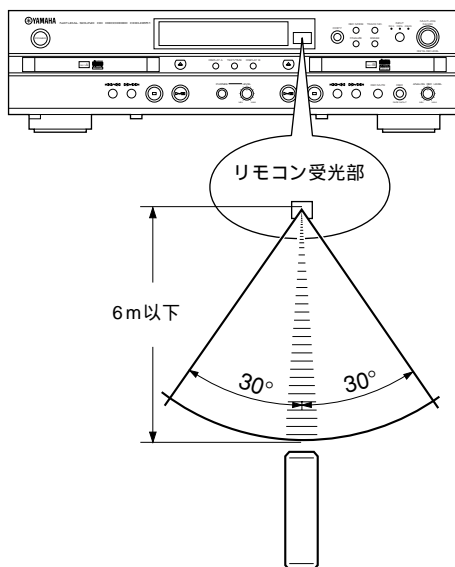
リモコンについて

電池交換のしかた

1. リモコンの裏のふたをはずします。
2. 単3型乾電池を2個、プラス(+)とマイナス(-)の向きを確認して、表示どおりに正しく入れてください。
3. 電池をセットしたらカチッと音がするまでふたを閉めます。



リモコンで操作できる範囲



電池交換の時期は？

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。このときは、2本とも新しい電池に交換してください。

乾電池についてのご注意

- 単3乾電池をご使用ください。
- 新しい電池と、一度使用したものを混ぜて使用しないでください。
- アルカリやマンガンなど、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 充電式の乾電池はご使用になれません。
- 電池のプラス(+)とマイナス(-)を金属片で直接つなぐこと(ショート)はしないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- 万一液もれが起こったときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。

付属のリモコンは...

ヤマハCDレコーダ専用です。

もし本機のリモコン操作によって誤動作をする機器があるときは、その機器の設置場所を変えてください。

ていねいに扱ってください

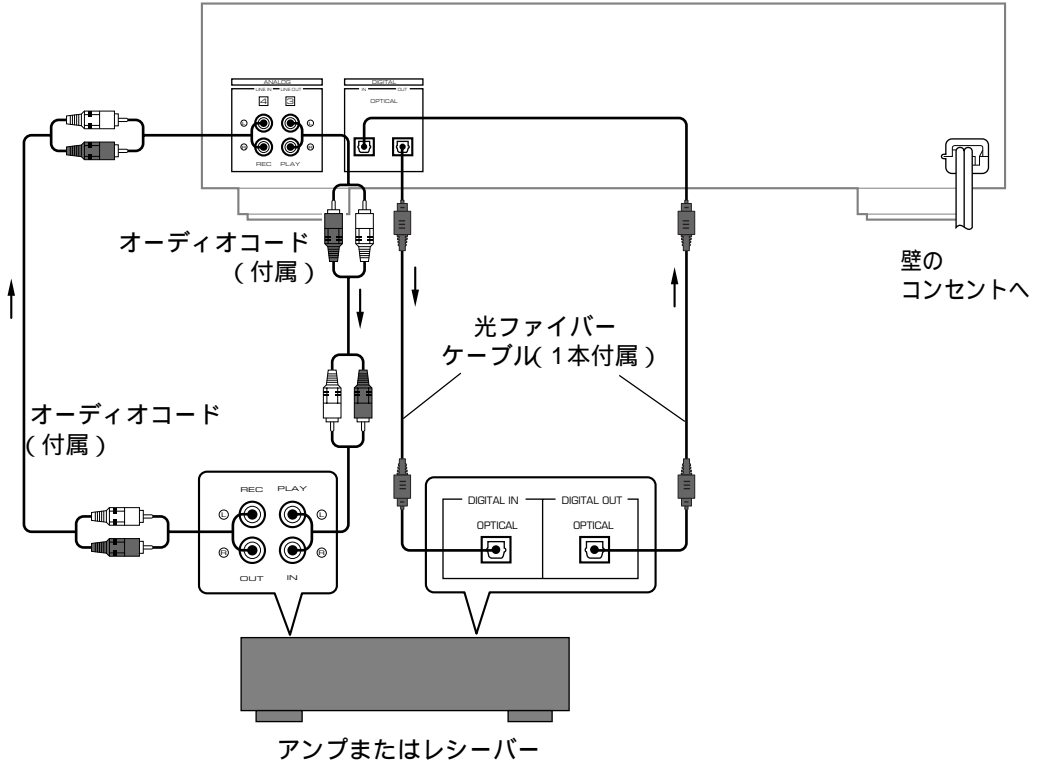
お茶や水をこぼしたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など、温度・湿度の高いところにも置かないようご注意ください。

リモコン受光部に、直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください
強い光が当たっていると、リモコンが動作しなかったり、誤動作の原因となります。

接続する

接続を始める前に、必ず各機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

- 本機の入出力端子と接続するアンプや各機器の入出力端子を正しく接続してください。
- 下図の矢印()は信号の流れを示しています。



デジタル入力・出力端子を使って接続する

- 接続する前にデジタル入力・出力端子についているキャップを取り外し、光ファイバーケーブルを使用して、本機の入力端子は接続する各機器の録音用デジタルOPTICAL出力端子に、本機の出力端子は再生用デジタルOPTICAL入力端子に接続します。
- 取り外したキャップは大切に保管し、デジタル入出力端子を使用しない場合に、ほこり等の付着を防ぐため、常にキャップをはめたままにしておいてください。





アナログ入力・出力端子を使って接続する

- 本機のアナログ入出力端子を、接続するアンプや各機器の入出力やチャンネル(L, R)をよく確認して正しく接続してください。
- 本機のアナログ入力(REC)端子は接続する各機器の録音用アナログ出力端子に、アナログ出力(PLAY)端子は再生用アナログ入力端子に接続します。
- アナログ入出力端子には3、④と番号がついています。弊社製のアンプ・レーザーと接続する時はこれらの端子と同じ番号のついて端子に接続してください。

各機器との接続が終了したら、電源プラグを壁のコンセントに差し込んでください。

ディスクの取り扱い

録音が行われず、録音したデータが損なわれる、本機が故障する等の障害が発生する原因となるため、ディスクのお取り扱いに関して、以下の事項を必ずお守りください。

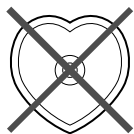
- 本機は、、、、マークのあるコンパクトディスク(8cm CD含む)をお使いください。本機ではCD-G、CD-ROM、VCD、CDV、DVDなどは再生できません。
- ディスクは本来、消耗しないようにできていますが、ディスクの取り扱い方によっては傷がつく場合があります。そのようなときは、正しく再生できないことがあります。
- クリーニングディスクや歪んだディスクは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

本機の故障を防ぐために

- 規格外のディスクはご使用にならないでください。

ハート型や花の形などの変形ディスク(シェイプCD)は、重量バランスがアンバランスであるため、ご使用にならないでください。

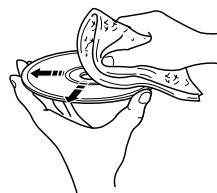
規格外のコンパクトディスクを本機にセットしますと、正しく再生できないばかりでなく、ディスクトレイが開いたり、異音の発生や故障の原因となる場合があります。



- レーベル面に紙やシール(レーベル面用ラベルシート含む)などを貼ったり、ボールペン等の先の尖ったものや固いもので文字を書かないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

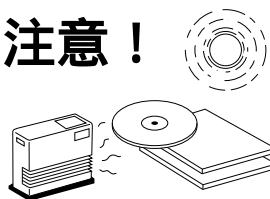
- CD-RやCD-RWの録音面に、ほこりや指紋、傷などがあつたり、直射日光が当たると、録音や再生できなくなる場合がありますので、以下の点に特にご注意ください。

- できるだけディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。
- 使用後のディスクは必ずケースに入れて保管してください。
- 信号記録面に、指紋やほこりが付いたら、柔らかい布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。コンパクトディスクにはレコード盤のような音溝はありません。ホコリや汚れは柔らかい布で軽く拭き取るだけで十分です。



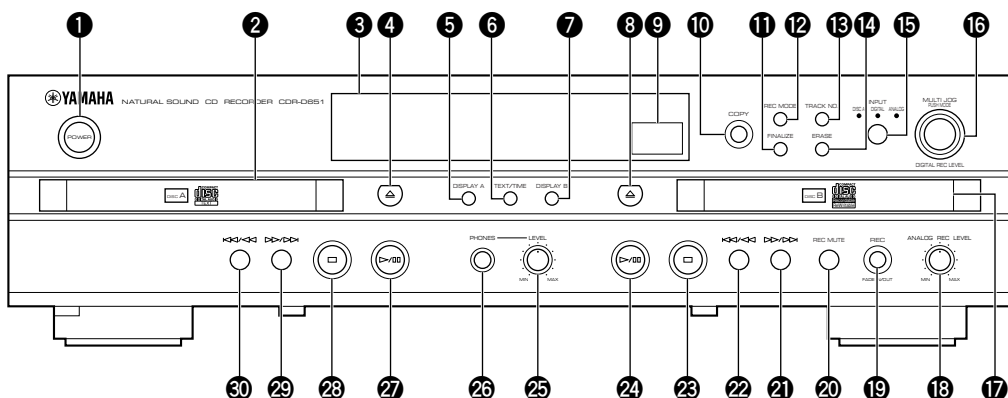
- レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。ディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また、水で拭くことも避けてください。
- 直射日光の当たる場所や、高温多湿な場所に長時間置くとディスクが変形したり、変色したりして、使用できなくなる恐れがありますので、避けてください。

注意!



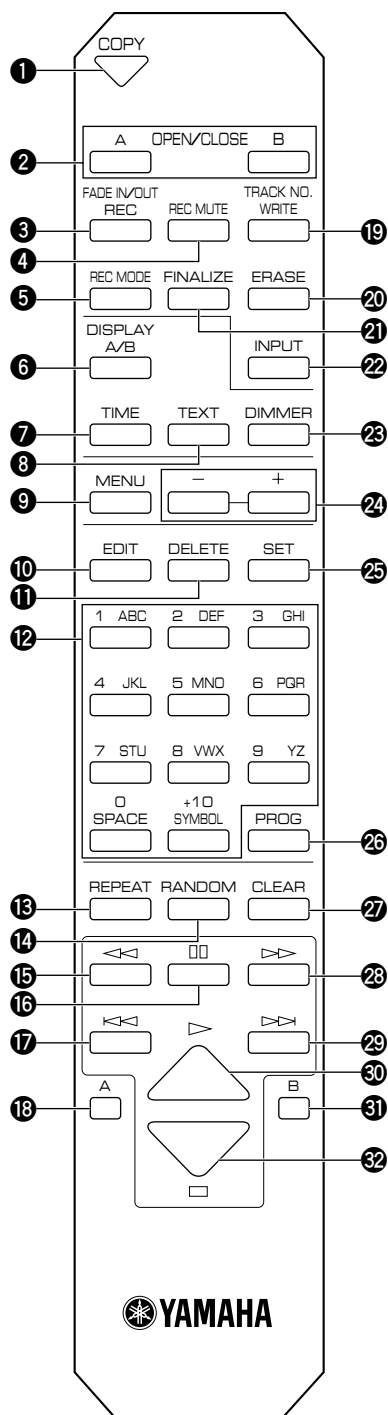
各部の名称と機能

フロントパネル



- | | |
|--------------------------------|---|
| ① POWERスイッチ P.16,26 | ①⑦ ディスクトレイB P.16,20 |
| ② ディスクトレイA P.18,20 | ①⑧ ANALOG REC LEVELつまみ P.19 |
| ③ ディスプレイ P.14 | ①⑨ REQ (FADE IN/OUT) ボタン P.17,19,23 |
| ④ 冫ボタン(ディスクトレイA用) | ①⑩ REC MUTEボタン P.23 |
| ⑤ DISPLAY Aボタン P.14 | ①⑪ 冫冫ボタン(ディスクトレイB用) |
| ⑥ TEXT/TIMEボタン P.14,24 | ①⑫ 冫冫ボタン(ディスクトレイB用) |
| ⑦ DISPLAY Bボタン P.14 | ①⑬ 冫ボタン(ディスクトレイB用) |
| ⑧ 冫ボタン(ディスクトレイB用) | ①⑭ 冫冫冫ボタン(ディスクトレイB用) |
| ⑨ リモコン受光部 | ①⑮ PHONES LEVELつまみ P.31 |
| ⑩ COPYボタン P.20 | ①⑯ PHONESジャック P.31 |
| ⑪ FINALIZEボタン P.25 | ①⑰ 冫冫冫ボタン(ディスクトレイA用) |
| ⑫ REC MODEボタン P.20,21 | ①⑱ 冫ボタン(ディスクトレイA用) |
| ⑬ TRACK NO.ボタン P.19 | ①⑲ 冫冫冫ボタン(ディスクトレイA用) |
| ⑭ ERASEボタン P.22,24 | ①⑳ 冫冫冫ボタン(ディスクトレイA用) |
| ⑮ INPUTボタン P.17,18 | |
| ⑯ MULTI JOGノブ P.15,19,20 | |

リモコン



- ① COPYボタン P.20
- ② OPEN/CLOSE A, Bボタン
- ③ REC(FADE IN/OUT)ボタン P.17,19,23
- ④ REC MUTEボタン P.23
- ⑤ REC MODEボタン P.20,21
- ⑥ DISPLAY A/Bボタン P.14
- ⑦ TIMEボタン P.14
- ⑧ TEXTボタン P.14,24
- ⑨ MENUボタン P.15,20
- ⑩ EDITボタン P.24
- ⑪ DELETEボタン P.24
- ⑫ 英/数字ボタン P.24,27
- ⑬ REPEATボタン P.30
- ⑭ RANDOMボタン P.29
- ⑮ ◀ボタン
- ⑯ □□ボタン
- ⑰ ▶▶ボタン
- ⑱ Aボタン P.28
- ⑲ TRACK NO. WRITEボタン P.19
- ⑳ ERASEボタン P.22
- ㉑ FINALIZEボタン P.25
- ㉒ INPUTボタン P.17,18
- ㉓ DIMMERボタン P.14
- ㉔ +, - ボタン P.15,20
- ㉕ SETボタン P.24
- ㉖ PROGボタン P.28,29
- ㉗ CLEARボタン P.29
- ㉘ ▶▶ボタン
- ㉙ ▶▶ボタン
- ㉚ ▶ボタン
- ㉛ Bボタン P.28
- ㉜ □ボタン

各部の名称と機能

ディスプレイ

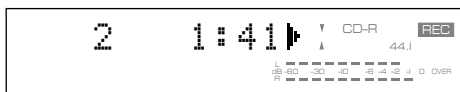
本機中央のディスプレイには、ディスクトレイA又はBについての情報が切替えて表示されます。切替えは前面のDISPLAY A又はBのボタン(リモコンではDISPLAY A/Bボタン)で行います。



録音時の表示

録音はディスクトレイBで行われます。ディスクトレイBで録音中、TEXT/TIMEボタン(リモコンではTIMEボタン)を押すごとに、次のように表示内容が切替わります。

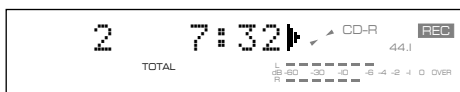
トラック録音経過時間;
入力端子からの録音時



ディスクトレイAからのコピー時



ディスク既録音時間;



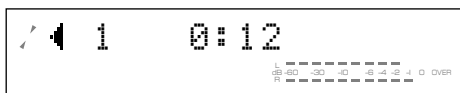
ディスク録音可能残り時間;



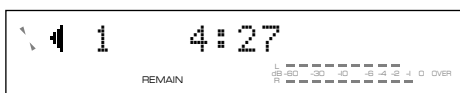
再生時の表示

ディスクの再生中、TEXT/TIMEボタン(リモコンではTIMEボタン)を押すごとに、次のように表示内容が切替わります。

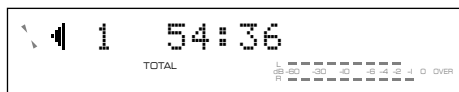
トラック経過時間;



トラック残り時間;



ディスク総時間;



ディスク残り時間;



CD TEXTの表示

本機はCD TEXTに対応しています。CD TEXTのついたCDを再生する場合、前面のTEXT/TIMEボタンを押すと、ディスク残り時間の次に、ディスクタイトルとトラックタイトルが続けて表示されます。リモコンでの操作ではTEXTボタンを押すことで、随時ディスクタイトルとトラックタイトルを表示させることができます。

ディスクタイトル



トラックタイトル



タイトルが10文字以上の場合は、スクロールした後最初の10文字を表示します。

明るさの調節

リモコンのDIMMERボタンを押すことで、ディスプレイの明るさを三段階に切替えることができます。

各種メニューの設定

本機では、録音や再生時の各種のモードを予め決めておくために、メニューの設定が必要です。これらは、前面のMULTI JOGノブ(リモコンではMENU, +, - ボタン)を用いて行います。

1. 停止状態からMULTI JOGノブ(MENUボタン)を押し、ノブをまわす(リモコンでは+, - を押し)と、ディスプレイにメニューの項目が表示されます。
2. 項目を選び、MULTI JOGノブ(MENUボタン)を押し、ノブをまわす(+, - を押し)と、下線の表示が表れるので設定したい方を選び、もう一度MULTI JOGノブ(MENUボタン)を押しして確定します。



Play SINGLE ↔ Play RELAY

- * 1枚のCDの再生をするか、2枚のCDのリレー再生をするかを設定します。



Auto ON ↔ Auto OFF

- * 電源が入った時、中のCDの再生をスタートするかしないかの設定をします。



Copy x1 ↔ Copy x2

- * ディスクトレイAからディスクトレイBへのコピーの速度を、等速か二倍速で行うかの設定をします。



Fade In 1s ~ 10s



FadeOut 1s ~ 10s

- * 録音時に用いるフェードイン・フェードアウトのフェードの時間を別々に設定します。



Can't Copy ↔ ANALOG Copy

- * CDのダイレクトコピー時、デジタル録音禁止のトラックに対して、録音をしないか、アナログで録音を行うかの設定をします。

尚、これらの設定は、電源を切っても記憶されています。

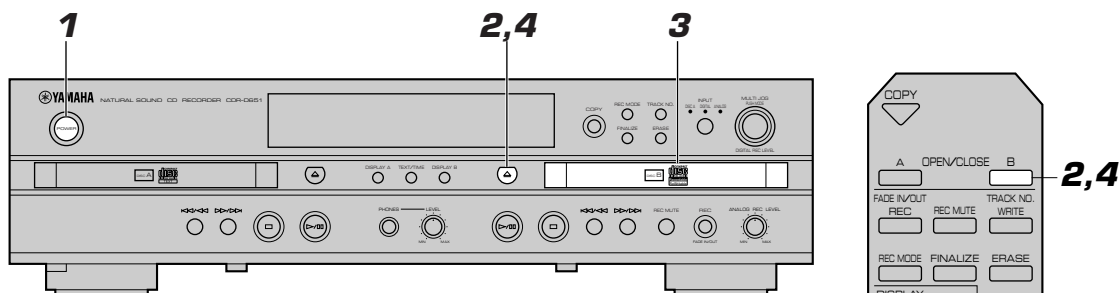
CD TEXTのEDITをする場合



- * 文字・数字・記号等を入力します。詳しくは23ページを参照ください。



ディスクに録音する



録音の基本操作

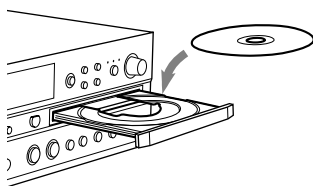
本機の録音はディスクトレイBで行います。ディスクトレイAは再生専用です。

操作手順は、本体の操作ボタンと()内はリモコンのボタンの両方で説明してあります。

()がない場合はリモコンの同名のボタンを表します。

ディスクを入れる

1. 前面のPOWERスイッチを押し、電源を入れます。
2. 右側のディスクトレイB用の△ボタン(リモコンではOPEN/CLOSE Bボタン)を押し、ディスクトレイを開けます。
3. ディスクトレイの溝にあわせ、記録面を下に向けて録音用ディスクを置いてください。
8cmのディスクの場合は、トレイの内側の溝にあわせて置きます。8cmのディスクの上に12cmのディスクを重ねて置かないようご注意ください。



4. △ボタン(OPEN/CLOSE Bボタン)を押し、ディスクトレイを閉じます。

ご注意

- ・ ディスクトレイを静かに押しても、ディスクトレイは閉じません。

本機にディスクを入れると、本機内部でディスクの種類や容量を読み取ります。

このとき、ディスプレイに「Reading」と表示され、約10秒かかります。



未ファイナライズのCD-RやCD-RWを本機に入れると、本機は最適な録音が行われるように、ディスクの反射に対し、レーザーの強さを自動的に調節します。

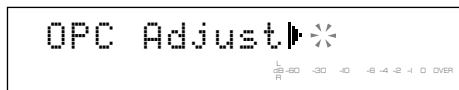
この過程はOPC(Optimum Power Calibration)と呼ばれます。

自動調節しているあいだ、ディスプレイに「OPC Adjust」と表示され、CD-Rの場合約15秒、CD-RWの場合は約45秒かかります。この表示が消えるまで、録音はできません。

<メモ>

OPCは本機とディスクの両方に記憶されています。本機では、ディスク24枚までOPCを記憶します。24枚以降はデータが古い順に削除され、新しいデータが更新されます。

本機がデータを記憶しているディスクでは、OPCは省略されます。(CD-RWでは、ディスク消去する際に、本機に記憶されているOPCのデータも消去されます。)



ディスク情報を読み取り、調節が完了すると、下記が表示され、操作可能になります。

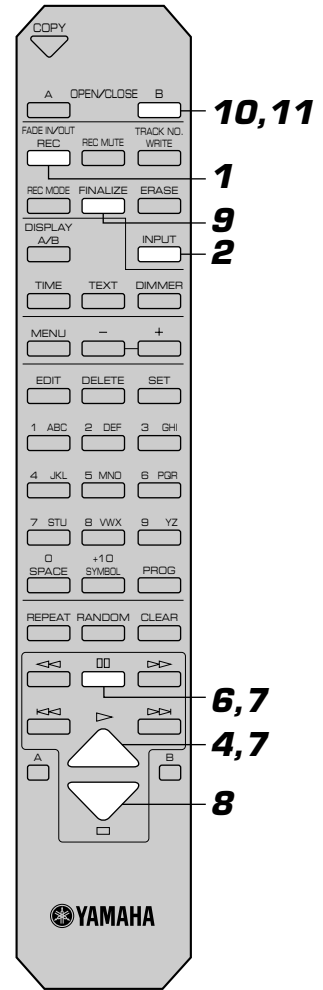
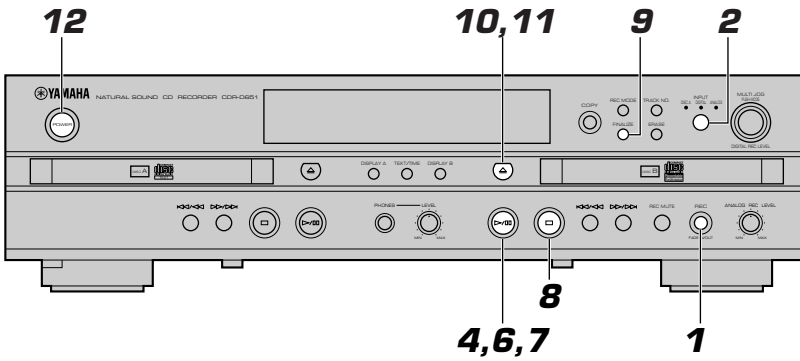
録音済みの音楽用CDの場合



新品のCD-RまたはCD-RWの場合



ディスクに録音する



録音を始める

1. RECボタンを押します。
録音一時停止になります。
- Standby ▶ ✱ CD-R REC

1 -30 -60 -90 -120 -150 -180 -210 -240 -270 -300 OVER
2. INPUTボタンで録音する入力信号を選びます。
(詳しくは18ページを参照ください)
 3. 録音レベルを調整します。
(詳しくは19ページを参照ください)
デジタル入力、アナログ入力両方の録音レベルが調整できますが、CDダイレクトコピーの場合は録音レベルは調整できません。
 4. ▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、録音が始まります。
 5. ソースを再生します。
 6. 録音を一時停止するには、▷/00ボタン(リモコンでは00ボタン)を押します。
ディスプレイに「Standby」が点灯します。
 7. 録音を再び始めるには▷/00ボタン(▷ボタン又は00ボタン)を押します。
 8. 録音を終えるには、□ボタンを押します。
ディスプレイに「Wait」が点灯し、この間PMA(Program Memory Area)にディスク情報が書き込まれます。
 9. ディスクへの録音がすべて終了したら、ファイナライズを行ってください。
ファイナライズについては、詳しくは25ページを参照してください。

10. △ボタン(OPEN/CLOSE Bボタン)を押してトレイを開き、ディスクを取り出します。
11. 再び△ボタン(OPEN/CLOSE Bボタン)を押してトレイを閉めます。
12. 使用が終わったら、POWERスイッチを押して、電源を切ります。

重要

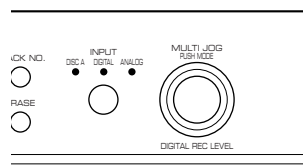
- 録音中に電源を切らないでください。正しく録音できなかつたり、ディスク破損の原因となります。
- CD-Rに録音中、電源を切ると、PMA(Program Memory Area)に情報が書き込まれないため、ディスクに録音できなくなる場合があります。
- 音飛びの原因となる場合があるので、録音中は衝撃や振動を本機に加えないでください。

ディスクに録音する

入力ソースを選ぶ

本機ではINPUTボタンでオプティカルデジタル録音、アナログ録音、そしてディスクトレイAのコピーを選んで切替えられます。

- デジタルソースを録音する場合は、DIGITALを点灯させます。
- アナログソースを録音する場合は、ANALOGを点灯させます。
- ディスクトレイAのCDを録音する場合は、DISC Aを点灯させます。ディスクトレイAのCDを、ディスクトレイBに入れたCD-R又はCD-RWに録音できます。その際、コピー速度は等速(聞きながらコピー)か、二倍速(半分の時間でコピー)かを選ぶことができます。
- CDダイレクトコピーを選んだ場合は、DISC Aに自動的に切替わります。



- INPUTの設定に関わらず、本機ではデジタル、アナログ信号を同時に出力します。
- INPUTでDIGITAL又はDISC Aを選んだ場合、入力したデジタルサンプリング周波数がディスプレイに表示されます。
- この切替えは、停止又は録音一時停止状態で行います。

録音モードを選ぶ

本機には多様な録音モードがあります。目的にあわせて適切なモードをお選びください。

CDダイレクトコピー

ディスクトレイAのCDをそのままディスクトレイBにコピーすることができます。

1曲シンクロ録音

ソース側の再生と同期して1曲のみ録音を行います。いろいろなソースから好みの曲だけ録音するときに便利です。

全曲シンクロ録音

ソース側の再生と同期して全曲の録音を行います。曲間を検出して自動的にトラックナンバーがつかまします。

フルオートシンクロ録音

全曲シンクロ録音後、自動的にファイナライズされて、CD-RはすぐCDとして使用できます。

マニュアル録音

録音開始、停止、トラックマーキング、ファイナライズ等すべての録音操作は、マニュアルで行います。

途中まで録音したディスクに録音する場合ファイナライズ前のCD-RやCD-RWでは、ディスクに録音残り時間があれば、どの録音モードでも録音できます。

最後に録音した曲の後から、すぐに録音を始めることができます。

以下の場合には録音できませんのでご注意ください。

- CDまたはファイナライズ済みCD-Rを入れたときに、CDインジケーターが点灯した場合
- ファイナライズ済みCD-RWを入れたときに、CD-RWインジケーターとTOCインジケーターが点灯した場合
- ディスクに録音残り時間が無く、「Disc Full」と表示された場合
- 99曲すでに録音済みで、「Track Full」と表示された場合(1枚のディスクには、99曲までしか録音できません。)
- 本機に入れたCD-RまたはCD-RWがオーディオ録用でなく、「Not Audio」と表示された場合

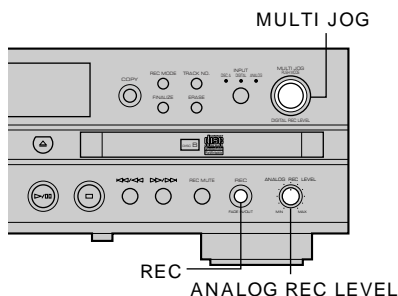
CD-Rを一般のCDプレーヤーで再生する前に(ファイナライズ)

CD-Rに録音を終了したら、必ず録音の最後にディスクをファイナライズしてください。

ディスクをファイナライズしないと、一般のCDプレーヤーでCD-Rを再生できません。

- CDダイレクトコピーやフルオートシンクロ録音で録音すると、録音が終了すると自動的にファイナライズします。

録音レベルを調節する



入力ソース別に調節するつまみがあり、INPUTでANALOGを選んだときはANALOG REC LEVELつまみを用いて調節します。

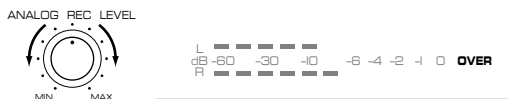
DIGITALあるいはDISC Aを選んだ場合の、デジタル信号の記録は、基本的には録音レベルの調節の必要はありませんが、DIGITAL REC LEVELつまみを用いてレベルを下げる方向に調節することもできます。

アナログ録音

1. RECボタンを押し、録音一時停止にします。



2. 録音するソースの一番大きい音のレベルの高い部分を再生します。
3. 上記のつまみで録音レベルを調節します。



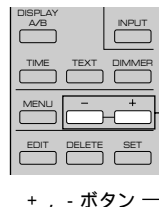
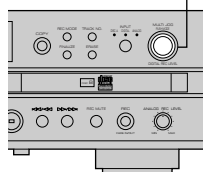
録音レベルの調節は、最大音量時にピークレベルメーターの赤(OVER)を点灯させない程度にしてください。

デジタル録音

デジタル録音レベルは、デジタルソースの基準レベルのまま録音する「0dB」に初期設定されています。通常、調節は不要ですが、必要に応じて0から-64dBまでの範囲で下げる方向に調節することができます。

調節は、録音一時停止中又は録音中にDIGITAL REC LEVELつまみ(MULTI JOGノブ)を用いて(リモコンでは+、-ボタンを押して)、1dBステップでできます。

DIGITAL REC LEVELつまみ



+、-ボタン

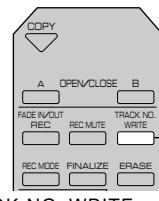
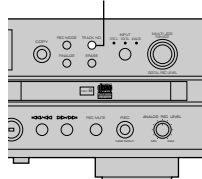
CDダイレクトコピー
録音レベルの調節はできません。

録音中に曲番を付ける

(マニュアルマーキング)

本機は自動的に曲番を付けて録音しますが、録音中に自分で曲番を付けることもできます(マニュアルマーキング)。

TRACK NO.



TRACK NO. WRITE

録音中、TRACK NO.ボタン(リモコンではTRACK NO. WRITEボタン)を押します。

- TRACK NO.ボタン(TRACK NO. WRITEボタン)を押した箇所に、トラックマークが追加されます。
 - 4秒以下の曲は作れません。
- また、99曲以上はディスクに記録できません。ディスクに録音残り時間がある場合でも、99曲トラックマークが付いていると、それ以上録音できません。

- マニュアルでトラックマークを付けたほうが良い場合：
 - * アナログソースを録音するとき、極めて低いレベル信号で録音されている場合
 - * 衛生放送をデジタル録音する場合
- シンクロ録音中も、外部デジタル入力の場合を除き、マニュアルでトラックマークを付けることができます。

CDのダイレクトコピー

本機には二つのディスクトレイがあり、トレイAに入れたCDをトレイBの録音用ディスクにまるごとデジタルでコピーするCDダイレクトコピー機能を備えています。

その際、コピー速度は等速か、二倍速かを選ぶことができます。又、録音レベルの調整はできません。

1. ディスクトレイAに、ソースとなる再生用CD、ディスクトレイBに録音用ディスクをのせて△ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、トレイを閉じます。

録音用ディスクの録音可能時間は、再生用CDのトータル時間より長いことを予め確認してください。

2. 前面のMULTI JOGノブ(リモコンではMENUボタン)を押してディスプレイに表示されるメニューから、MULTI JOGノブをまわして(リモコンでは+, -を押して)「Copy Speed」を選びもう一度MULTI JOGノブ(MENUボタン)を押します。



3. ここで点滅しているコピー速度の、「x1(等速)あるいは「x2(倍速)を、MULTI JOGノブ(+, -ボタン)で選び、MULTI JOGノブ(MENUボタン)を押して確定します。

4. 以上の準備ができたなら、COPYボタンを押すとダイレクトコピーがスタートします。

尚、次項のシンクロ録音モードでダイレクトコピーを行う場合は、REC MODEボタンを押してシンクロ録音のモードを選んでからCOPYボタンを押します。

コピーが終了すると、自動的にファイナライズが行われ、録音されたディスクは通常のCDとして扱うことができます。但し、一曲または全曲シンクロ録音を選んだ場合はファイナライズは行いません。

注意

- ダイレクトコピー中は、電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。
- コピーされたディスクをもう一度コピーすることはできません。デジタル録音のルール(32ページ)参照
- デジタルコピー禁止のディスクに対しては、アナログでコピーする方法があります。その場合はメニューの設定のSCMS ModeをANALOGに設定してください。(15ページ参照)

シンクロ録音

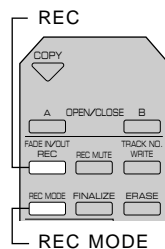
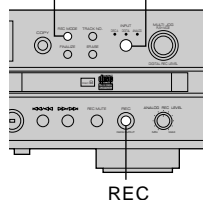
入力信号を検出して録音をスタートする機能で、ソース側の再生が始まると同時に録音を開始し、その終わり方により、次の三つが選べます。

1曲シンクロ録音

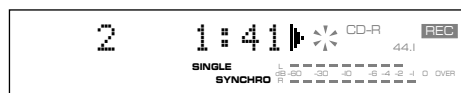
いろいろなオーディオソースから1曲ずつ編集録音するときに便利な操作です。

曲の頭に自動的にトラックマークがつきます。

REC MODE INPUT



1. 録音用のディスクをいれます。
ディスクはソースより長めの録音時間のものをご使用ください。
2. RECボタンを押し、録音一時停止にします。
3. INPUTボタンで、録音する入力を選びます。
4. 録音レベルを調整します。(19ページ参照)
5. ソース側が停止状態であることを確認します。
6. REC MODEボタンを押します。
SINGLEとSYNCHROインジケータが点灯します。



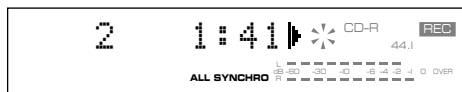
7. ソース側の再生を始めます。
 - 本機は自動的に録音を開始します。
 - 再生したトラックが終わるか(デジタル録音)、ソースの無音部分が約4秒続き(アナログ録音)、曲間として認識すると、1曲の録音が終了し、本機は録音一時停止となり、シンクロ録音モードは解除されます。
8. 手順5~7を繰り返して、次の曲を録音します。
9. すべての曲の録音が終了したら、□ボタンを押します。
その間PMA(Program Memory Area)にディスク情報が書込まれます。

ディスクへのすべての録音が終わったら、ファイナライズをしてください。(詳しくは25ページを参照)

全曲シンクロ録音

MD、カセットテープ、LP等を全曲まるごと録音するときに便利な操作です。録音している曲と同じタイミングでトラックマークが自動的につきます。手順**1**~**5**までは、前項1曲シンクロ録音と同じです。

- 6.** REC MODEボタンを2回押します。
ALLとSYNCHROインジケーターが点灯します。



- 7.** ソース側の再生を始めます。

- ・本機は自動的に録音を開始します。
- ・デジタル録音している場合、ソース側の機器で新しい曲が始まると同時にトラックマークがつきます。
- ・アナログ録音している場合、無音部分が約4秒続くと曲間として認識し、次の曲が始まると同時にトラックマークがつきます。

- 8.** 約20秒間無音が続くと録音が終了します。
ディスプレイに「Wait」が点灯し、その間PMA (Program Memory Area)にディスク情報が書込まれます。書込みが終了すると、本機は停止します。

ディスクへのすべての録音が終わったらファイナライズをしてください。(詳しくは25ページ参照)

ご注意

- ・再生する機器によっては、トラックナンバーが正しく記録されない場合があります。このときはマニュアルでトラックマーキングを行ってください。
- ・録音するソースにノイズや低いレベルの音がある場合、無音部分の認識ができずトラックマークがつかない場合があります。このときはマニュアルでトラックマーキングを行ってください。
- ・外部デジタル入力から録音中、サンプリング周波数が変化すると正規のシンクロ録音動作をしなくなる場合があります。

フルオートシンクロ録音(自動でファイナライズする)

全曲シンクロ録音が終わった後、自動的にファイナライズを行います。

(ファイナライズについては25ページを参照ください)

手順**1**~**5**までは、前項1曲シンクロ録音と同じです。

- 6.** REC MODEボタンを3回押します。
AUTOとSYNCHROインジケーターが点灯します。



- 7.** ソース側の再生を始めます。

本機は自動的に録音を開始します。

- 8.** 約20秒間無音が続くと録音が終了します。
ディスプレイに「Wait」が点灯し、その間PMAにディスク情報が書込まれます。

- 9.** 書込みが終了すると、自動的にファイナライズを開始します。

- ・ファイナライズをやめるには、20秒間の無音が続いているときに、□ボタンを押します。
- ・ファイナライズが始まってしまうと操作ボタンは効きません。
- ・ファイナライズ中は決して電源を切らないでください。
- ・録音中、ディスクの残り時間が無くなった場合や曲数が99曲に達した場合は、ソース側の再生が続いていても録音は停止します。このとき、ファイナライズはマニュアルで行ってください。

- INPUTボタンで、DISC Aを選んでシンクロ録音を行う場合は、トラックマークの書込みや曲の終了等はすべてディスクトレイAのディスクに基づいて行われます。

又、必要に応じて、各種メニューの設定により、二倍速でのコピーもできます。

CD/RWの消去

CD-RWでは一度録音したものを消去できます。また、消去した箇所に、新たに録音できます。消去方法は4通りあります。

最終曲消去

ディスクの最終曲を消去します。この操作はファイナライズ済みのCD-RWや、1曲しか録音していないCD-RWではできません。

1. 消去したいCD-RWを入れます。
 - ・ファイナライズ済みのCD-RWでは消去できません。
2. ERASEボタンを押します。
 - ・ディスプレイに「Erase LAST?」と表示されます。
 - ・最終曲のみを消去するときは、次に進みます。最終曲の更に前の曲も含めて消去するにはMULTI JOGノブを左に回して、その曲番を選んでください。
 - ・消去をやめたいときは、□ボタンを押します。
3. ▷/⏏ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押して、消去を始めます。
 - ・消去が完了するまで、曲数により数秒から数分かかります。
 - ・消去中は、ディスプレイに「Erasing」と消去完了までにかかる時間の目安が表示されます。
4. 消去が完了すると本機は停止します。

全曲消去

ディスクすべての曲を消去します。この操作はファイナライズ済みのCD-RWではできません。

1. 消去したいCD-RWを入れます。
 - ・ファイナライズ済みのCD-RWでは消去できません。
2. ディスプレイに「Erase ALL?」が表示されるまで、ERASEボタンを押します。
 - ・消去をやめたいときは、□ボタンを押します。
3. ▷/⏏ボタン(▷ボタン)を押して、消去を始めます。
 - ・消去が完了するまで、約80秒かかります。
 - ・消去中は、ディスプレイに「Erasing」と消去完了までにかかる時間の目安が表示されます。
4. 消去が完了すると本機は停止します。

TOC消去

この操作はファイナライズ済みのCD-RWでのみ可能です。

TOCを消去した後は、追加の録音が可能となります。

1. ファイナライズ済みのCD-RWを入れます。
2. ERASEボタンを押します。
 - ・ディスプレイに「Erase TOC?」と表示されます。
 - ・消去をやめたいときは、□ボタンを押します。
3. ▷/⏏ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押して、消去を始めます。
 - ・消去が完了するまで、約80秒かかります。
 - ・消去中は、ディスプレイに「Erasing」と消去完了までにかかる時間の目安が表示されません。
4. 消去が完了すると本機は停止します。

ご注意

- ・TOC消去が完了すると、TOCインジケータが消灯します。
- ・CD TEXTが記録されている場合はTOCインジケータが点滅します。これをディスク上に残す時はファイナライズを行ってください。

ディスク消去

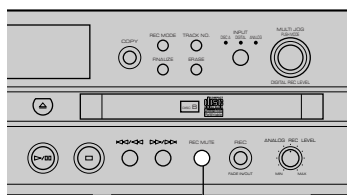
この操作はディスク上のすべての情報を消去します。主にディスクの修復用に利用するものです。

1. 消去したいCD-RWを入れます。
 - ・ファイナライズ前のCD-RWでも、ファイナライズ済みのCD-RWでも消去できます。
2. 約2秒間、ERASEボタンを押したままにします。
 - ・ディスプレイに「Erase DISC?」と表示されます。
 - ・消去をやめたいときは、□ボタンを押します。
3. ▷/⏏ボタン(▷ボタン)を押して、消去を始めます。
 - ・消去が完了するまで、ディスクの録音可能な総時間の約1/2かかります。
4. 消去が完了するとディスクトレイがオープンします。

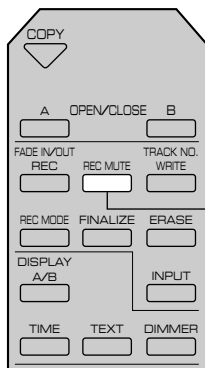
ご注意

- ・消去中は電源を切らないでください。本機の故障の原因やディスク破損の原因となります。
- ・消去中、ディスプレイに「Check Disc」と表示され、消去が停止した場合、ディスクが汚れていたり、破損している可能性があります。ディスクを取り出して確認し、もう1度消去を行ってください。

レックミュート



REC MUTE



REC MUTE

録音の最後に無音部分をつくるには、REC MUTE ボタンを押します。4秒間の無音部分が録音され、録音一時停止となります。それ以上続けたい場合はボタンを押し続け、離すと一時停止になります。レックミュート動作中はRECインジケータが点滅します。

フェードイン・アウト機能

本機には録音開始時に徐々にレベルを上げていくフェードイン、終了時に徐々にレベルを下げていくフェードアウト機能があります。

フェードイン

録音一時停止状態で、RECボタンを押すとフェードイン録音が始まり、その間RECインジケータが点滅します。

このフェードイン時間は、約3秒ですが、メニューの設定により、1秒から10秒の間で調節できます。

フェードアウト

録音中にRECボタンを押すとフェードアウト後、録音一時停止状態となります。

この時間も、メニューの設定で変えることができます。

フェード時間を変えるには

1. 録音又は停止状態でMULTI JOGノブ(リモコンではMENUボタン)を押し、ノブをまわして(+, - を押して)メニューの中から、「FadeIn Time」又は「FadeOutTime」を選びます。
2. もう一度ノブ(MENUボタン)を押した後、ノブをまわして(+, - を押して)10~1秒の中から希望の時間を選びます。
3. 確定のために更にもう一度MULTI JOGノブ(MENUボタン)を押します。なお、この設定は電源を切っても記憶されています。

CD TEXTのコピーとエディット

本機はCD TEXTに対応しています。CD TEXTのついているCDをデジタルでコピーする場合、その情報は自動的にディスクトレイBのディスクに記録されます。

又、新たに録音するディスクにCD TEXTを書込むこと(エディット)もできます。

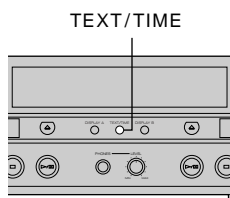
CD TEXTのコピー

ディスクトレイAに、CD TEXTのついたCDを入れ、INPUTボタンでDISC Aを選んでディスクトレイBのディスクに録音する場合、あるいはCDダイレクトコピー機能を使ってコピーする場合、音楽ソースと同時に最大23文字のCD TEXTもコピーされます。

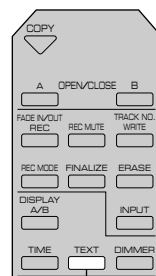
この時TOCインジケータが点滅しますので、これをディスク上に記録する場合はファイナライズを行ってください。

CD TEXTは、前面のTEXT/TIME(リモコンではTEXTボタン)の操作により表示されます。詳しくは14ページを参照ください。

尚、マニュアル録音でのCD TEXTのコピーはできません。



TEXT/TIME



TEXT



一部のCDは著作権の保護により、CD TEXTの内容をコピーできません。

いろいろな録音のしかた.....

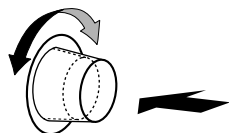
CD TEXTのエディット

本機では、録音するディスクにCD TEXTを書込むことができます。

アルファベットの大文字、小文字、数字、記号を使って最大23文字のディスクタイトルと各トラックタイトルをつけることができます。

これらの操作は、いずれもファイナライズする前に行ってください。一旦、ファイナライズをすると、CD TEXTのエディットはできません。

MULTI JOG ノブを使ってタイトルをつける



1. TEXTをつけるディスクをディスクトレイBに入れます。

Disc Nameをつける時は停止状態でMULTI JOG ノブを押し、ノブをまわして各種メニューの設定の中から、Disc Nameを選びます。Track Nameをつける時は停止状態からそのトラックを▶▶ボタンで選び、以下、同様の方法で両方のタイトルをつけることができます。

2. MULTI JOG ノブを押すと、ディスプレイにカーソルが表われるので、そこに入れる文字をMULTI JOG ノブをまわして出てくる文字列の中から選び、ノブを押します。

文字列は、アルファベットの大文字、小文字、数字、記号の順に並んでます。ノブを時計方向あるいは反時計方向にまわして適切なものを選んでください。

3. ここでノブを押すと、選んだ文字が確定し、カーソルは次の位置へ移動します。

この後は、同様の操作を繰り返してタイトルをつけてください。最大23文字まで入力できます。

4. すべての文字の入力が終わったら、MULTI JOG ノブを2秒押し続けます。これで、タイトルが確定します。

リモコンを使ってタイトルをつける

1. 前記1.同様、停止状態で、EDITボタンを押し、Track NameあるいはDisc Nameを選びます。

2. カーソルに入れる文字を10キーボタンにより選びます。

一度押すごとに、アルファベット大文字、小文字、数字の順に入力する文字が変わります。スペースはSPACEボタンを、記号はSYMBOLボタンを押して選びます。

3. 次に別のボタンを押して次の文字を選びます。

同じボタンを使う場合は▶▶ボタンを押してカーソルを移動します。この後は、同様の操作を繰り返してタイトルをつけてください。23文字まで入力できます。

4. すべての文字の入力が終わったら、SETボタンを押します。

これで、タイトルが確定します。

間違えた文字を修正するには

ディスクトレイBの◀◀又は▶▶(リモコンでは◀◀又は▶▶ボタン)を押してカーソルを消したい文字へ移動し、前面のERASEボタン(リモコンではDELETEボタン又はERASEボタン)を押すか、新しい文字を入力し、確定させてください。

ディスクへの書込み

ディスクタイトルまたはトラックタイトルが確定するとTOCインジケーターが点滅します。これらをディスク上に記録する為にファイナライズ(次ページ参照)をしてください。

これにより、CD TEXT付きのCDが出来上がりません。

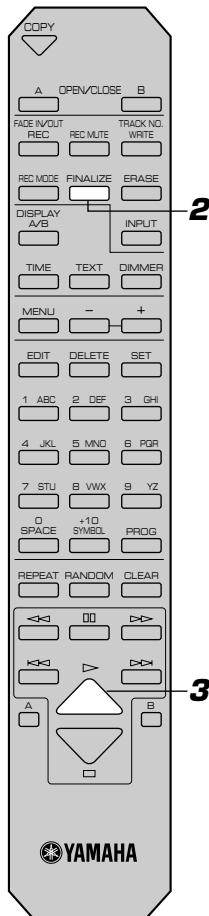
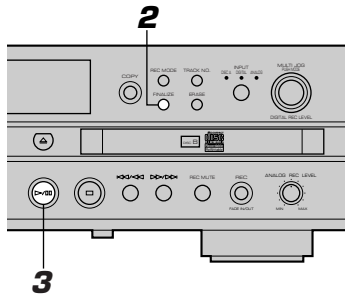
<メモ>

- CD TEXTのエディットは、停止状態で行うのが基本ですが、あるトラックを再生中又は録音中にも、そのトラックのTrack NameやDisc Nameをつけることもできます。この場合はエディット後□(STOP)ボタンを押してからファイナライズをしてください。
- エディット後、ファイナライズする前にディスクトレイを開けようとする、「TEXT Save?」の表示がでます。この時は▶/00ボタン(リモコンでは▶ボタン)を二回押してファイナライズをしてください。もし、△ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押してディスクトレイを開けると、エディットしたTEXTデータは失われます。

ファイナライズする

ファイナライズとは、録音が終了したCD-Rを一般のCDプレーヤーで再生できるようにする最終処理です。(ただし、CD-RWはファイナライズしても、CD-RWに対応している機器でしか再生できません。CD-RWは一般のCDプレーヤーでは再生できません。)

- ファイナライズ済みのCD-Rには、追加で録音はできません。ファイナライズする前に、録音がすべて終了したか、よく確認してください。
- ファイナライズ中は絶対に電源を切らないでください。ディスク破損の原因となります。

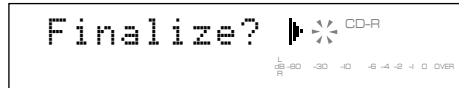


CD-R、CD-RWをファイナライズする

1. 録音が終了し、ファイナライズ前のCD-RまたはCD-RWを入れます。

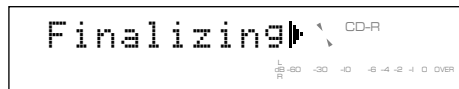
- ディスクを入れる前に、ディスクに傷やほこり、指紋などの汚れが付いていないか確認してください。もし、ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。(ディスクのお手入れについて、詳しくは11ページをご覧ください。)

2. FINALIZEボタンを押します。



- ファイナライズを止めるときは、□ボタンを押します。

3. ▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押して、ファイナライズを始めます。

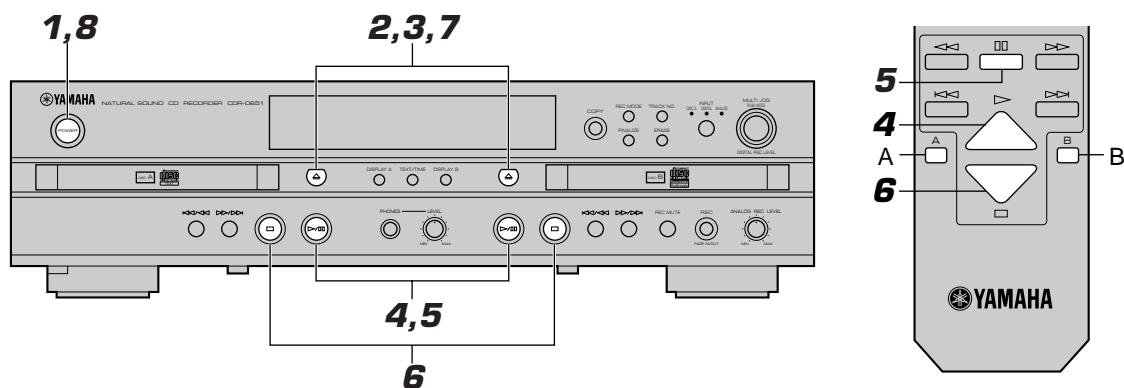


- ファイナライズが終了するまでの時間の目安がディスプレイに表示されます。ファイナライズが完了するまで約2分かかります。
- CD-Rのファイナライズが完了すると、ディスプレイのCD-RインジケータはCDインジケータに切り換わり、本機は停止します。
- CD-RWのファイナライズが完了すると、ディスプレイにTOCインジケータが点灯し、本機は停止します。

ファイナライズするときのご注意

- ファイナライズが始まると、ファイナライズが完了するまで、操作ボタンを受け付けません。
- ディスクに傷や汚れ、ほこりがあると、ファイナライズできない場合があります。
- ファイナライズ中は絶対に電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。

1又は2枚のCDを再生する.....



再生の基本操作

本機には二つのディスクトレイがあり、左側のディスクトレイAは再生専用、右側のディスクトレイBは録音・再生兼用です。操作は各々のトレイ用ボタンで行います。

リモコンではトレイA/Bを切替えた後、操作ボタンを押します。

本機のディスクトレイAはCDとファイナライズしたCD-RとCD-RWの再生が、ディスクトレイBはCD、CD-R、CD-RWの再生ができます。

ディスクを入れる

1. 前面のPOWERスイッチを押し、電源を入れます。
2. △ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押し、ディスクトレイを開けます。
3. ディスクトレイに再生用CDを入れ、ディスクトレイを閉めます。

再生をする

4. ▷/00(リモコンでは▷ボタン)を押します。一曲目の頭から再生が始まります。
5. 一時停止するには、▷/00ボタン(リモコンでは00ボタン)を押します。もう一度再生を始めるには、▷/00ボタン(▷ボタンまたは00ボタン)を押します。
6. 再生を終えるには、□ボタンを押します。

再生が終わったら

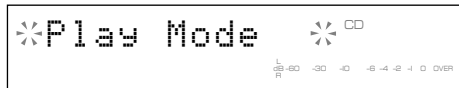
7. △ボタン(OPEN/CLOSEボタン)を押しCDを取り出して、トレイを閉めます。
8. POWERスイッチを押し電源を切ります。

2枚のCDのリレー再生

二つのディスクトレイに入れた2枚のCDを、連続して再生することができます。

先にスタートしたCDの再生が終ると、もう1枚のCDの一曲目から再生が始まります。

1. 両方のディスクトレイに再生用CDを入れます。
2. MULTI JOGノブ(リモコンではMENUボタン)を押し、セットメニューの中からノブをまわして(リモコンでは+、-を押して)「Play Mode」を選びます。



3. もう一度MULTI JOGノブ(MENUボタン)を押すと下記の表示がでます。

Play SINGLE

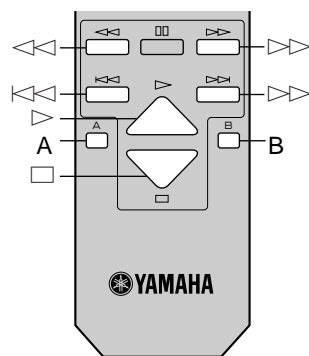
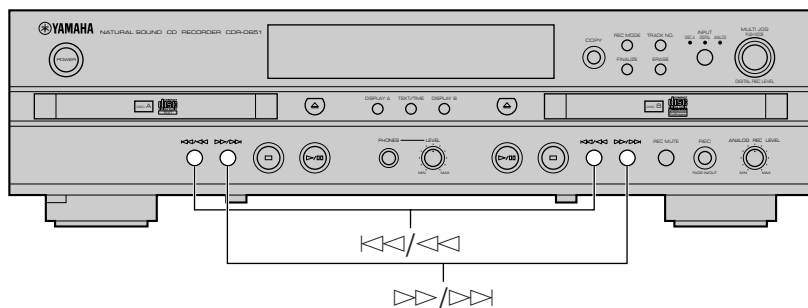
*Play RELAY *

4. ここでノブをまわして(+、-を押して)「RELAY」を選び、確定のためにMULTI JOGノブ(MENUボタン)をもう一度押します。



5. 最初に聞きたいCDの入った方のディスクトレイの▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと再生が始まります。
6. 2枚目のCDの再生が終ると停止します。

1又は2枚のCDを再生する



聞きたい部分を探す

(サーチ)

早送りするには
再生中、 \gg/\gg ボタン(リモコンでは \gg ボタン)を
押したままにします。
ボタンから手を離れたところから、通常の再生が始
まります。

早戻しするには
再生中、 \ll/\ll ボタン(リモコンでは \ll ボタン)を
押したままにします。
ボタンから手を離れたところから、通常の再生が始
まります。

- アナログ出力端子で接続している場合、再生中の
サーチは小さな音が聞こえます。
- 一時停止中のサーチでは音は聞こえません。

聞きたい曲を探す

(スキップ)

次の曲を聞くには
再生中に、 \gg/\gg ボタン(リモコンでは \gg ボタン)
を押します。
続けて次の曲へ進むには、 \gg/\gg ボタン(\gg ボタ
ン)を繰り返し押します。

再生中の曲の頭に戻るには
再生中に、 \ll/\ll ボタン(リモコンでは \ll ボタン)
を1回押します。

前の曲を聞くには
再生中に、 \ll/\ll ボタン(\ll ボタン)を2回続けて押
します。
さらに前の曲に戻るには、 \ll/\ll ボタン(\ll ボタ
ン)を繰り返し押します。

注意

- 一時停止中または停止中も、 \gg/\gg または \ll/\ll ボタン(リ
モコンでは \gg または \ll ボタン)で曲を選べます。
再生を始めるには、 \triangleright/\square ボタン(リモコンでは \triangleright ボタン)を押し
ます。

聞きたい曲から再生するには
リモコンの数字ボタンを押して、聞きたい曲を選び
ます。
ディスプレイに聞きたい曲番号が表示されます。

例：25曲目を選ぶ場合
+ 10ボタンを2回押し、すぐに5ボタンを1回
押します。

MULTI JOGノブで選曲するには
ノブを右にまわすと、次の曲、さらに次の曲へと進
みます。左のまわすと、曲の頭あるいは前の曲に戻
ります。

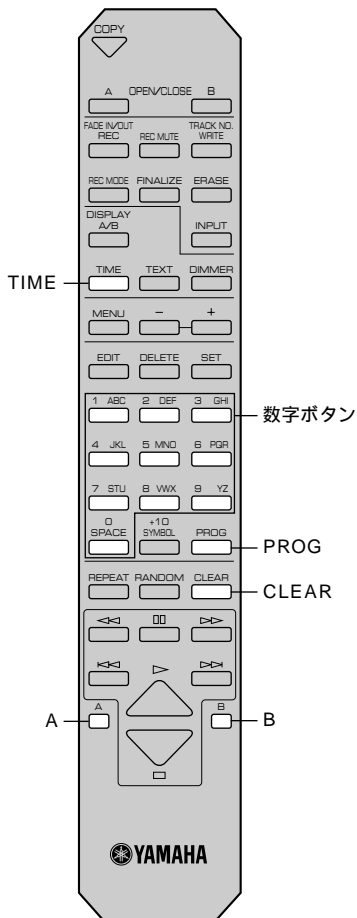
注意

- ディスクに録音されている曲数以上の曲番を選ぶと、ディス
クの最後の曲を再生します。
前面の \triangleright/\square ボタン、リモコンの \triangleright ボタン、数字ボタン、
RANDOMボタンを押して、ディスクトレイを閉じると再生
が始まります。
このとき、ディスクの総曲数や録音総時間は表示されませ
ん。

聞きたい曲を好きな順に聞く

(プログラム再生)

本機は、ディスクトレイAとBのCDの曲を、リモコンを用いて合計40曲までのプログラムができます。



プログラムするには

1. 停止状態からPROGボタンを押して、プログラム入力画面にします。
2. リモコン下部のA又はBボタンを押し、プログラムするCDを選びます。
 - ディスクAのプログラムをする時は、ディスプレイに次の表示がでます。



3. リモコンの数字ボタンを押して、一曲目をプログラムすると、その曲の時間の後、次の表示がでます。



4. 引き続き、ディスクAの曲をプログラムする場合は、この操作を繰り返します。
 - 途中でディスクBの曲をプログラムしたい時は、リモコンのBボタンを押してから数字ボタンを押してください。
 - プログラムされた合計時間は、ステップ入力後二秒間表示されます。
5. プログラムが終わったらPROGボタンを押します。プログラムした曲をすぐに再生する時は、▶ボタンを押します。

<メモ>

- プログラム設定中にTIMEボタンを押すと、プログラムされた合計時間を表示します。元の表示に戻るには、もう一度TIMEボタンを押します。
- プログラムした曲の飛び越し選曲をするには、再生中に◀◀又は▶▶を押します。
- ◀◀又は▶▶ボタン(サーチ)を押し続けるとプログラムしていない曲にも移ります。
- プログラムの入力操作は、両方のディスクトレイが閉じている状態でおこなってください。

プログラムした順番を確認するには

1. プログラム入力中にPROGボタンを押すと、一曲目のトラックナンバーが表示されます。
2. 次に◀◀又は▶▶ボタンを押していくと、プログラムされた曲が順次表示されるので、曲順が確認できます。

プログラムを変更するには

1. プログラム入力中、◀◀又は▶▶ボタンを押していくと、プログラムされた曲が点滅して表示されます。
2. ここで新しいトラックナンバーを数字で入力すると、訂正前の曲は消え、新しい曲が表示されます。
3. 訂正を終えたら、PROGボタンを押します。

プログラム再生を止めるには

- ボタンを押します。最初にプログラムした曲番がディスプレイに表示されます。
- ▷ボタンを押すと、再びプログラムの最初から再生します。

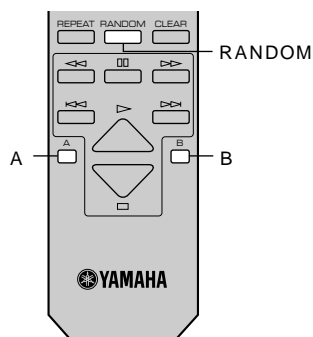
プログラムモードを解除するには

停止中にCLEARボタン又は□ボタンを押します。

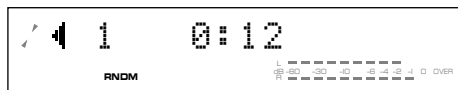
順不同に聞く

(ランダム再生)

CD内の曲を順不同に(ランダムに)選択して聞くことができます。



1. CDを入れ、リモコンのRANDOMボタンを押します。ディスプレイにRNDMインジケータが点灯し、順不同に再生が始まります。



2. ランダム再生を止めるには、□ボタン又はRANDOMボタンを押します。ディスプレイのRNDMインジケータは消灯します。
3. 2枚のCDをランダム再生するには、26ページの2枚のCDのリレー再生の設定をした後、RANDOMボタンを押します。

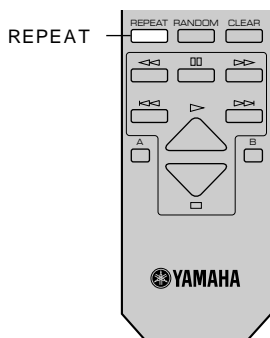
いろいろな再生のしかた.....

聞きたい曲を繰り返し聞く

(リピートS)

指定した一曲、又は再生中の曲を繰り返し再生します。

1. リモコンのREPEATボタンを押し、ディスプレイにREP Sを点灯させます。



プログラム再生やランダム再生中でも、その曲がリピートできます。

1枚のCDを繰り返し聞く

(リピートF)

どちらかのディスクトレイに入っているCDの全曲を繰り返し再生します。

1. メニュー設定の中のPlay ModeをSINGLEに設定しておきます。
2. リモコンのREPEATボタンを繰り返し押し、ディスプレイにREP Fを点灯させます。



そのCDの全曲を繰り返し聞けます。

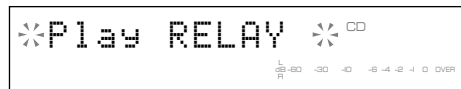
- プログラム再生中は、プログラムされたすべての曲を繰り返し再生します。
- ランダム再生中は、ランダムに選曲された曲を同じ順序で繰り返し再生します。

2枚のディスクを繰り返し聞く

(リピートリレイ)

両方のディスクトレイに入っている2枚のCDを交互に繰り返し再生します。

1. メニュー設定の中のPlay ModeをRELAYに設定します。



2. リモコンのREPEATボタンを繰り返し押し、ディスプレイにREP Fを点灯させます。
3. 一方のCDの再生が終了と、もう一方のCDが再生され、それが繰り返しされます。

リピートを解除するには、CLEARボタンを押すか、REPEATボタンを繰り返し押ししてREP S又はREP Fを消灯させます。

順不同に繰り返し聞く

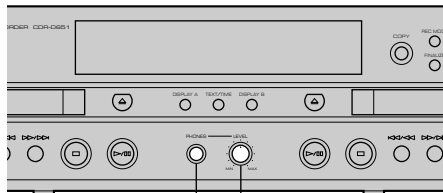
(ランダムリピート)

上記リピートリレイの手順1. 2.の後、RANDOMボタンを押します。2枚のCDの曲をランダムに選択し、これを繰り返し聞くことができます。

ヘッドホンを使って聞く

お手持ちのヘッドホンのプラグをPHONES端子に接続します。

LEVELつまみを回して、ヘッドホンの音量を調節します。



ヘッドホンをつなぐ ヘッドホンの音量を調節する

オートプレイ

本機の電源が入ると、自動的に再生が始まるオートプレイが、メニューの設定と外部のタイマー等を使用してできます。

1. 停止状態でMULTI JOGノブ(リモコンではMENUボタン)を押し、ノブをまわして(リモコンでは+、-を押して)メニューの中から、「Auto Play」を選びます。
2. もう一度ノブ(MENUボタン)を押した後、ノブをまわして(+、-を押して)「Auto ON」を選びます。
3. 確定のために更にもう一度MULTI JOGノブ(MENUボタン)を押します。なお、この設定は電源を切っても記憶されています。
4. この後、一旦切られた電源が再び入ると、本機は再生を始めます。

通常動作に戻すには、2.の設定を、「Auto OFF」にしてください。

ご注意

本機が接続されているアンブ、レーザー等の電源が切れていると、本機の音が歪むことがあります。この場合は、接続されているアンブ、レーザー等の電源を入れた状態でご使用ください。

システム上の制約について

録音できる曲の長さや曲数について

- ディスクに録音できる曲の最短の時間は約4秒です。4秒以内で録音を停止すると、4秒に達するまで無音を録音し、停止します。
- ディスクに録音できる曲数は99曲です。99曲を超えて録音しようとする、自動的に録音が停止します。すでに99曲録音されていると、録音時間が余っていても、録音できません。

サンプリングレートコンバージョンについて
LPやカセットテープをCD-RやCD-RWにアナログ録音する場合、本機はアナログ信号を44.1 kHzのデジタル信号に変換して録音します。

デジタルソースをCD-RやCD-RWに録音する場合、本機はデジタル信号を44.1 kHzに変換して録音します。

本機は32 kHz、44.1 kHz、48 kHzのデジタル信号のソースを録音できます。

DATからデジタル録音する際のご注意

DATのスタートIDは、必ず音の始まる前に入れてください。

一般に、DATのオートID機能を使用して作成したテープは、スタートIDが音よりわずかに遅れて記録されています。

本機では、DATからのデジタル録音時に、このスタートIDで曲の切り換わりを検知しているため、デジタルシンクロ録音(1曲または全曲)の際に以下のような不具合を生じる場合があります。

- 録音開始時、曲の頭が欠ける
- 録音中、曲の頭よりわずかに遅れて、新しいトラックマークが付く
- 録音終了時、次の曲の頭が録音される

上記を防ぐため、DATから録音する場合はマニュアル録音をお勧めします。

DATの操作について、詳しくはお手持ちのDATに付属の取扱説明書をご覧ください。

DTS-CDからコピーする際のご注意

DTS-CDのコピーは、ダイレクトコピーで行ってください。

オーディオ信号以外の録音について

本機はオーディオ信号の録音用に設計されています。

CD-ROMなどのオーディオ信号以外のソースからは録音できません。

入力したデジタル信号がオーディオ信号の場合に限って録音可能です。

また、CDグラフィックのように、デジタル信号にグラフィックが記録されている場合は、音声以外のデータは録音されません。

デジタル録音のルール

(SCMS—Serial Copy Management System)

デジタル入力で録音したソースをさらにデジタル録音することはできません。

本機は、シリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。

「シリアルコピーマネージメントシステム」は、各種デジタルオーディオ機器の間で、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」というデジタル信号どうしのコピーを「1世代まで」と規制したものです。

2つの原則があります。

原則1

コンパクトディスク(CD)またはデジタルオーディオテープ(DAT)、ミニディスク(MD)ソフトから、CDへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。ただし、一度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」したものを、他のCDへ「デジタル信号のままデジタル録音」できません。

原則2

アナログレコードやFM放送などを本機で録音したCDから、他のCDへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」することができます。

ただし、一度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」したCDから、他のCDへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できません。

本機はこの規格に準拠して設計されていますので2世代目のデジタルコピーはできません。このコピー禁止の状態になった時、メニューの設定により、自動的にアナログ信号でコピーを実行することができます。

この場合は、各種メニューの設定の中の、SCMS Modeを「ANALOG Copy」に設定してください。

(15ページ参照)

録音レベルの調整は、まずディスクAの再生を始め次にディスクBのRECボタンを押してANALOG REC LEVELつまみでおこなってください。

ディスプレイ文字表示一覧

Can't Copy

デジタル録音できないときに表示されます。
(詳しくは、「デジタル録音のルール(シリアルコピーマネージメントシステム)」(32ページ)をご覧ください。)

Check Disc

ディスクの読み取り実行後や、ディスク消去中、ファイナライズ中、OPC実行中に、それぞれの動作が停止したときに表示されます。
この場合、ディスクが汚れていたり、破損している恐れがあります。ディスクを取り出して確認してください。

Close

ディスクトレイを閉めるときに表示されます。

Data Track

データトラックを再生しようとしたときに表示されます。

Disc Full

ディスクの録音時間いっぱい録音されているため、これ以上録音できないときに表示されます。

Erase ALL?

CD-RWに記録されているすべての曲を消すときに表示されます。
消したいときは▶/00ボタン(リモコンではPLAY▶ボタン)を押します。

Erase DISC?

CD-RWに記録されているすべての情報を消すときに表示されます。
消したいときは▶/00ボタン(リモコンではPLAY▶ボタン)を押します。

Erase LAST?

CD-RWに記録されている最後の曲を消すときに表示されます。
消したいときは▶/00ボタン(リモコンではPLAY▶ボタン)を押します。

Erase TOC?

CD-RWに記録されているTOC(Table Of Contents)を消すときに表示されます。
消したいときは▶/00ボタン(リモコンではPLAY▶ボタン)を押します。

Finalize?

ディスクをファイナライズするときに表示されます。
ファイナライズしたいときは▶/00ボタン(リモコンではPLAY▶ボタン)を押します。

Finalized

ファイナライズ済みのCD-RWに録音しようとしたときに表示されます。

Finalizing

ファイナライズしているとき、TOC(Table Of Contents)をディスクに記録しているあいだ表示されます。

New Disc

新品のCD-RまたはCD-RWを本機に入れたときや、ディスク消去または全曲消去したCD-RWを本機に入れたときに表示されます。

No Disc

ディスクが入っていないときに表示されます。

No Input

デジタル入力を選択したが、接続が正しく行なわれていないときに表示されます。
またはデジタル信号がソース側の機器から出力されていないときに表示されます。
この表示が表示されたときは、接続が正しく行なわれているか確認してください。
またはソース側の機器の状態を確認してください。

Not Audio

本機に入れたディスクが、音楽用のCD-RまたはCD-RWでないときに表示されます。
これは、REC、FINALIZE、またはERASEボタンを押した時に表示されます。

OPC Adjust

ディスクの反射に対して、本機のレーザーの強さを調節しているあいだ表示されます。
調節を行なうのに数秒かかります。

Open

ディスクトレイを開けるときに表示されます。

Reading

電源を入れたときやディスクを入れたとき、ディスクのフォーマットを読み込んでいるあいだ表示されます。

Standby

本機が待機状態のときに表示されます。

TEXT Save?

CD TEXTのコピーまたはエディットをした後、ファイナライズを行わないでディスクトレイを開けようすると表示されます。

Track Full

ディスクにすでに99曲録音されているため、これ以上録音できないときに表示されます。

Wait

本機が録音後、停止し、ディスク情報をPMA(Program Memory Area)に書き込んでいるときに表示されます。
この表示が出ているときは、電源を切らないでください。

故障かな?と思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。
 その上で正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められた場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

症状	原因	対応のしかた
POWERスイッチを押しても電源が入らない。	電源プラグの差し込みが不完全。	電源プラグをコンセントにしっかり差し込み直してください。
ディスクを入れても再生できない。	ディスクが壊れている。	ディスクを確認してください。ディスクを交換してください。
	レーザーピックアップに湿気がある。	電源を入れ直し、約20～30分経ってから、再生を始めてください。
	ディスクが裏がえしにセットされている。	ディスクのレーベル面を上にして入れてください。
	ディスクがひどく汚れている。	クリーニングしてください。
再生が始まるのに時間がかかる。違った場所から再生が始まる。	ディスクに傷がある、または壊れている。	ディスクを確認してください。ディスクを交換してください。
録音できない。	ディスクがファイナライズされている。	ファイナライズ前の録音可能なディスクを入れてください。 CD-RWでは、TOC消去やディスク消去が必要な場合があります。
	すでに録音が完了しているディスクを入れた。	録音可能なディスクを入れてください。
	INPUTつまみの位置が適切でない。	INPUTつまみを入力信号に合った位置にしてください。
	ソース側の出力レベルが低すぎる。	ソース側の出力レベルをMAXに設定してください。
	ディスクに録音可能な残り時間が足りない、またはすでに99曲録音されている。	録音可能なディスクと交換してください。
	録音中に電源コードがはずれたり、電源が切れて、録音したものが消失した。	CD-Rの場合は、ディスクを交換してください。 CD-RWの場合は、最初から録音し直してください。
	ディスクが汚れている、または壊れている。	ディスクをクリーニング、またはディスクを交換してください。
録音したCD-RやCD-RWが、本機以外のCDプレーヤーやDVDプレーヤーで再生できない。	お使いのCDプレーヤーやDVDプレーヤーがCD-RまたはCD-RWに対応していない。	CD-RまたはCD-RWに対応しているCDプレーヤーやDVDプレーヤーをご使用ください。
	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
音飛びがする。	本機またはソース側の機器が振動やショックを受けている。	設置場所を変えてください。 (何らかの振動やショックによって、すでにソース自体が正しく録音されていない場合を除く。)
	ディスクがひどく汚れている。	クリーニングしてください。
ブーンというハム音がする。	接続が正しく行なわれていない。	オーディオコードをしっかりと接続してください。 オーディオコードを交換してください。
ノイズが出る。	ディスクが歪んでいる。	ディスクを交換してください。
リモコンで操作できない。	リモコンの乾電池が消耗している。	2本とも新しい乾電池に交換してください。
	本機から遠いところでリモコン操作している。 受光部に向けてリモコン操作していない。	リモコン受光部から6m、60度の範囲内でリモコン操作してください。
	受光部に強い日光や照明(インバータ蛍光灯など)が当たっている。	リモコン受光部に強い光が当たらないように本機の設置場所や方向、または照明の位置を工夫してください。
リモコンを使うとテレビが正常に機能しない。	リモコン受光部の付いているテレビの近くでリモコンを使用している。	本機をテレビから離れた場所に設置してください。 テレビのリモコン受光部を隠してください。

仕様

オーディオ部

周波数特性
..... 5 ~ 20,000 Hz、± 0.5 dB

S/N比(EIAJ)
再生 100 dB
録音 90 dB

高周波歪率(1 kHz)
再生 0.004 %
録音 0.02 %

ダイナミックレンジ
再生 95 dB
録音 85 dB

入力端子

アナログ入力(REC)端子
形状 ピンジャック
標準入力レベル 700 mV/20 kΩ

デジタル入力OPTICAL端子
形状 光端子

出力端子

アナログ出力(PLAY)端子
形状 ピンジャック
標準出力レベル(1 kHz、0 dB)
..... 2.0 ± 0.5 Vrms

デジタル出力(OPTICAL)端子
形状 光端子

PHONES端子
標準出力レベル(150Ω、- 20 dB)
..... 300 mV/150Ω

一般

電源
..... AC 100 V、50/60 Hz

消費電力
..... 19 W

外形寸法(幅 × 高さ × 奥行き)
..... 435 × 117 × 285 mm

質量
..... 5 kg

付属品
..... オーディオコード(2本)
..... 光ファイバーケーブル
..... リモコン
..... 単3乾電池(2本)

仕様及び外観は改良のため変更することがあります。



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ヤマハホットラインサービスネットワーク.....

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

保証期間

お買上げ日より1年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。

技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テープデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

品番、製造番号は本機背面に表示してあります。

スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エイジングの差による音色の違いが出る場合があります。

摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。

摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。



ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

AV国内営業部 TEL (053) 460-3451

AV・IT品質保証部 TEL (053) 460-3405

住所および電話番号は変更になることがあります。

ヤマハAV製品の機能や取扱いに関するお問合せは

お客様ご相談センター

TEL (03) 5488-5500

ご相談受付時間 10:00~12:00, 13:00~17:00
(土・日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。)

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問合せは

(ヤマハ電気音響製品サービス拠点)

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512-6108

仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236-0249

首都圏 〒211-0025 川崎市中原区木月1184
TEL (044) 434-3100

浜松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
TEL (053) 465-6711

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652-2230

大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)千里丘センター内
TEL (06) 6877-5262

広島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14
TEL (082) 874-3787

四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7
(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
TEL (087) 822-3045

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472-2134

愛情点検



永年ご使用の本機の点検を!

こんな症状はありませんか?

電源コード・プラグが異常に熱い。
コゲくさい臭いがする。
電源コードに深いキズが変形がある。
製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
電源を入れても正常に作動しない。
その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。